

久しぶりの

# 保育園連絡会開催

# どろんこ

2022年10月20日(木)

672号

船橋市職労福祉支部

発行責任者 村上はつみ



コロナ感染症の影響で、なかなか集まる会議が開けず、1月以来、今年度初めての保育園連絡会を開くことができました。

10月13日(木)、勤労市民センターにおいて、久しぶりに、保育園連絡会が開催できました。

7園9人の参加でした。コロナ感染症が大分減ってきていますが、体調を崩して来れなかったり、園で発熱が増えてきたりと、なかなかコロナ以前のようにはなりません。様子を見ながら開催していこうと思います。

連絡会では、今年度の組合の活動について、第3回中央委員会、秋闘の要求書提出の報告をしました。(詳しくは「ふなみち」をご覧ください)

保育園連絡会の動きとしては、現在公立保育園管理課と「7-7について」検討をしています。看護師は、保育士の資格がない事から(保育士の有資格者が7時から19時に1人以上配置)

7時番・19時番を外れることになったこと、3時間45分勤務の保育補助要員ができた事等、2008年に組合と交わした「確認書」と違ってしまったこと

とによる検討会となっています。当時と様々な状況が変わっているため(時間外職員が減っている、産明け児・支援児も標準時間で預かっている等)、現在の問題点の解決をし、少しでも仕事ができやすくなるような方法を検討した方が良くのではないかとの方で話し合っています。報告については、連絡会で行います。参加できなかった園には、連絡会のレジュメを送っているので確認してください。

22人勸と、定年延長についての学習会も行いました。

人勧については、一時金が0.1月上がること。若い人中心に基本給が上がる話をし、定年延長については、保育士として60歳以降も元気に働ける環境や職場の整備をするよう要求している事を伝えました。

各園の状況としては、「産休・病休代替が来ない」「時間外職員が足りないための保育応援や単独クラスになったときの体制のきつさ」が出されました。

人員不足については、職員課に何度も伝えていきます。職員課長も「業務に支障のあること」を認めているので正規職員の採用を増やすよう要求し不足分を早急に配置するよう訴えています。夏季促進が取り切れない園もありました。期間内に取れなくても有給促進の為に取っていきましよう。

## ○ 役員選挙投票用紙

配布 10月20日(木)

回収 11月8日(火)

## ○ 代議員による大会採択用紙

配布 11月17日(木)

回収 12月1日(木)

福祉施設支部から、代議員を選ばせていただきます。代議員となった方には採択用紙を送りますので、期日までに提出をお願いします。

学ぼう、語ろう、つながろう 子どもの命と育ちと平和のために



第54回

全国保育団体合同研究集会

合研 in 高知



2022年8月20日(土)、21日(日)

28人参加しました。感想を頂いたので、順次載せたいと思います。宣伝がうまくいかず参加できなかった方もいますが、声かけしてくれた園では参加が多かったです。参加された方からは好意見が多かったです。

☆ 高知での開催でしたが、配慮していただいて、今回は貴重な機会を頂く事ができ、とてもうれしかったです。ありがとうございました。

記念講演をはじめ、今の社会の中で、保育がどのような環境状態にあるのかも知ることができ、また、生活や遊びについての実践に役立ったり、勉強になる講座も多くあり、とても勉強になりました。

引き続き、いろんな所から保育について学ばせていただけたらと思いました。どうもありがとうございます。

(習1 Mさん)

☆ オンライン参加という形が、気軽に参加しやすくて良かったです。

好きな講義を選んで受けられたので、自分の保育に活かしやすい物を選んで良かったです。(芝1 Uさん)

☆ コロナ禍で自主研修に参加することが難しい中、他県の園の実践等を聞くことができ、全国で頑張る仲間がいると感じ、心強い気持ちになりました。

子どもの主体性等、意識しているつもりになっている部分もあったと反省したので、子どもの気持ちや育ちに寄り添い具体的な手立てをしていきたいと思いました。

貴重な機会を頂き、ありがとうございました。

(二和 Tさん)

☆ 初めて合研を受けました(主催地が遠いことが多かったので)。自宅で受けられ、後日配信は、好きな時間に視聴でき、自分の都合に合わせて助かりました。

清水先生の講座「いやいや、泣きやまない、どうしたらいい？」や「ゼロ、1、2歳児の発達と保育」の講座は、担当クラスの保育に生かせるものだったので、今後に心がけていきたいです。

(芝1 Sさん)

☆ 現在、わたしは1歳児低月齢クラスの担任をしているので、ゼロ、1、2歳の発達について改めて学ぶ機会となり、とても興味深いものでした。特に印象に残った内容は2点あります。

1つ目は、指さしによる三項関係についてです。子どもが、単に物を指さすのではなく、指さしの後に保育士等の大人を見ているか、ということが大事だと学びました。子どもの視先目線にも今後は意識していきたいです。

2つ目は、子どもの表情、視線、言葉等に答える大人の存在です。子どもの発見や思いに大人が気づき、返してあげることによって、安心して過ごしたり、認めてくれる存在、認められる自分“自己肯定感”に繋がるのだと学びました。子どもからの発信を逃さないよう、子どもたちの遊びを見守り、関わっていきたいと感じます。(海1 Tさん)